

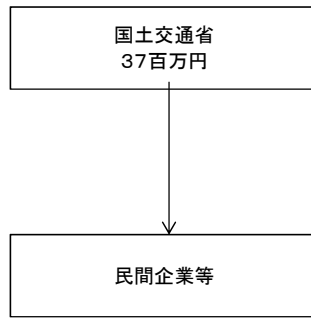
平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	道路占用料の見直しに関する調査検討経費		担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度		担当課室	路政課 道路利用調整室		室長 牛山 智弘		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通の安全性を確保・向上する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路法第32条、第39条、第39条の2 道路法施行令第19条、第19条の2		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	道路占用料については、「道路占用料制度に関する調査検討会」(平成18年度設置・報告)において、「3年程度ごとに改定を検討することが妥当」との提言を受け、次期占用料の改定(平成29年4月予定)に向け、所要の調査を実施するとともに、学識経験者等で構成する委員会を実施し、道路の使用の対価として適正な水準を確保することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	道路占用料は、道路の使用の対価としての性格を有し、民間の土地の賃料に相当するものであり、その算定に用いる「使用料率」(民間の土地の賃料の土地価格に占める割合)を設定するためには、全国の土地賃借水準を反映する必要があることから、各地域の不動産鑑定士による土地の賃料に関する調査を行うとともに、学識経験者等で構成する検討会を設定して検討を行い、道路の使用の対価として適正な水準を確保するために、調査・検討を実施する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算						
		前年度から繰越し						
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計					37	
	執行額							
	執行率(%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	24年度	25年度	26年度	目標値 (年度)
	道路占用料の適正な水準を確保。 (本事業は、道路の使用の対価として、道路占用料の適正な水準を確保するものであって、定量的な成果指標を定めて実施するものではない。)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	全国の土地賃借水準の調査 (本事業は、占用料見直しに伴う調査を実施するためのものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない。)		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
			算出根拠		単位	24年度	25年度	26年度
単位当たりコスト	-		単位当たりコスト	-	-	-	-	-
	-		計算式	/	-	-	-	-
	-							
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	道路交通安全対策費		-	37	-			
	計		-	37				

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通の安全性の確保・向上に寄与。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議予定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
-	-	-				
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	検討結果を占用料の改定に活用し、適正な水準の占用料を確保するための効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位: 百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----

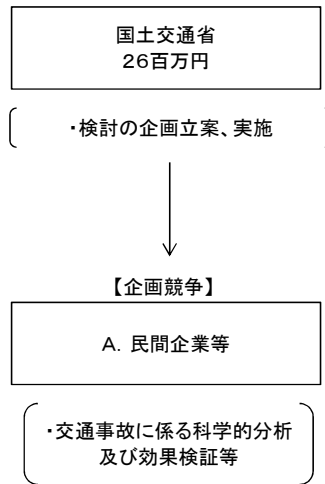
平成26年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	第10次交通安全基本計画の策定・推進方策検討		担当部局庁	道路局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度		担当課室	環境安全課 道路交通安全対策室		室長 阿部 悟	
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通安全の安全性を確保・向上する			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	交通安全対策基本法 第二十二条		関係する計画、通知等	交通安全基本計画			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年中の交通事故による死者数は4,373人で13年連続で減少しているが、高齢者の死者数が平成13年以来12年ぶりに増加し、高齢者死者数の6割以上が歩行中・自転車乗用中に発生しているなど、交通事故情勢は厳しい状況にある。また、平成23年度に策定された第9次交通安全基本計画(現計画)は、対象期間が平成27年度までであることから、平成28年度から平成32年度の目標や講ずべき交通安全に関する施策を定めた第10次交通安全基本計画の策定を行う必要がある。このため、特に生活道路及び高齢者の対策を重点化することにより、わが国の交通事故死者を効果的・効率的に削減し、世界一安全な道路交通を実現することを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	第10次交通安全基本計画の策定に向け、以下の検討を行う。 1. 生活道路の交通事故にかかる科学的分析及び効果検証 2. 高齢者のための安全な道路空間の設計に係る検討 3. 生活道路の安全確保のためのガイドラインの策定に係る検討						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求
		補正予算					26
		前年度から繰越し					
		翌年度へ繰越し					
		予備費等					
		計					26
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	23年度	24年度	25年度	目標値(年度)
	効果的・効率的な交通事故対策の推進 (本事業は、交通事故対策の推進のための検討を行うものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない)		成果実績	-	-	-	-
			目標値	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	生活道路の安全確保のためのガイドラインの策定に係る検討 (本事業は、ガイドラインの策定のための検討を行うものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない)		活動実績	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠		単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たりコスト	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由			
	道路交通安全対策費	-	26	-			
計	-	26					

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通安全の安全性の確保・向上に寄与。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議予定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
-	-	-				
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	検討結果を道路交通安全施策に活用し、より安全で円滑な道路交通の実現のための効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
-						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----

B.

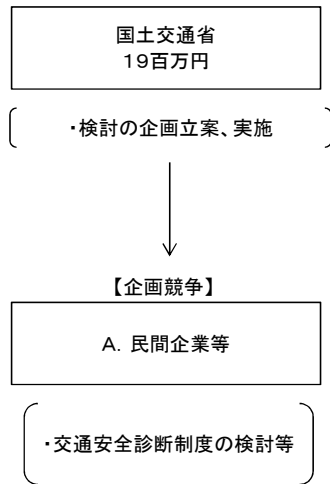
	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----

平成26年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	交通安全診断制度の構築に向けた検討経費		担当部局庁	道路局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成27年度		担当課室	環境安全課 道路交通安全対策室		室長 阿部 悟		
会計区分	一般会計		政策・施策名	5 安全で安心できる交通の確保、治安・生活安全の確保 15 道路交通安全の安全性を確保・向上する				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	平成25年中の交通事故による死者数は4,373人で13年連続で減少しているが、前年比減少率はわずかに留まり、高齢者の死者数が平成13年以来12年ぶりに増加するなど、交通事故情勢は厳しい状況にある。また、交通事故死者数のうち、歩行中と自転車乗用中の死者が約5割を占め、そのうち約5割が自宅から500m以内の生活に身近な道路で発生している。このため、特に生活道路における対策の質の向上を図ることで、わが国における交通事故死者を削減し、世界一安全な道路交通を実現することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	交通安全診断制度の構築に向け、以下の検討を行う。 1. 基礎的な調査や実験 2. 交通安全診断制度の検討 3. 手引き書等の作成							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求	
		補正予算					19	
		前年度から繰越し						
		翌年度へ繰越し						
		予備費等						
		計					19	
	執行額							
執行率 (%)								
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (年度)
	効果的・効率的な交通事故対策の推進 (本事業は、交通事故対策の推進のための検討を行うものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない)		成果実績	-	-	-	-	
			目標値	-	-	-	-	
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	交通安全診断制度に関する手引き書の作成に係る検討 (本事業は、手引き書作成のための検討を行うものであり、定量的な活動指標を定めて実施するという性質のものではない)		活動実績	-	-	-	-	-
			当初見込み	-	-	-	-	-
単位当たり コスト	算出根拠			単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	-		単位当たり コスト	-	-	-	-	-
			計算式	/	-	-	-	-
平成26・27年度 予算内訳 (単位:百万円)	費目	26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	道路交通安全対策費	-	19	-				
計	-	19						

事業所管部局による点検・改善						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	道路交通の安全性の確保・向上に寄与。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-	入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関である入札監視委員会等により審議予定。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		-			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-	-		
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	-	-	-			
	-	-	-			
点検・改善結果	点検結果	当該予算の執行は国土交通省で実施する予定である。 入札及び契約内容の妥当性については、第三者機関により審議いただく予定である。				
	改善の方向性	-				
外部有識者の所見						
-						
行政事業レビュー推進チームの所見						
-	検討結果を道路交通安全施策に活用し、より安全で円滑な道路交通の実現のための効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
-	-					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成23年	-	平成24年	-	平成25年	-	-

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

A.			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
--	-----	------	-----	------	-----